



出水市立下水流小学校学校だより

キャッチフレーズ

下水流小だより

『花と笑顔と

読書の下水流小』



令和5年3月23日 第12号 校長 井手口 勉

ありがとうございました

校長 井手口 勉

春の訪れが確かに感じられる頃となりました。間もなく下水流小学校の令和4年度が終わろうとしています。年度当初4月の学校だよりのタイトルを見返してみると、こう書いてありました。



「がんばる自分を見つけ、自分のよさと仲間のよさを見つける1年に」

このことは、常に子供たちに伝えてきました。その成果として、子供たちはそれぞれができることを増やし、周囲との関わりを通して成長してきました。子供たちの頑張りに拍手を送りたいと思います。そして、そこには子供たちのために努力を続けてきた下水流小学校全職員の取組があることを皆様にも伝えたいと思います。

その子らをを見よ。そこに教育の成果があり、そして課題がある。

という言葉があります。たくさん成果もありましたが、課題がないわけでもありません。しっかり人の話を聴くことや、授業へ集中して取り組む学びへの意欲、より深い思考や相手意識をもった表現力など今後子供たちが身に付けなければならないことは少なくありません。ですから、これからもそのような課題におかして元気で明るい下水流っ子たちと教職員が一体となり、子供たちを伸ばし、よりよい学校をつくっていきたいと思っています。そのためには保護者や地域の皆様のご協力が欠かせません。これからも下水流小学校のために皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

この一年、様々な面でご協力・ご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。令和4年度最後のタイトルは自分自身も大切にしている言葉「ありがとうございました」になりました。

地域の方々の思いに感謝 ～創立100周年記念碑整備作業・正門横防犯灯取替～



3月5日(日)に、創立100周年記念碑整備作業が行われました。作業をしてくださるのは、創立100周年記念実行委員の有志の方々。ロータリー内のソテツやイヌマキについては、高所作業車や脚立を使ってきれいに剪定していただきました。また、ツツジの剪定、周辺の草刈りなど一時間半におよぶ作業でロータリーが美しく整備されました。下水流小学校は、本年度創立130周年。つまり、30年続く活動です。下水流小学校の子供たちを見守るロータリーをこれからも地域の皆さんと大切に守っていきたいと思います。実行委員有志の皆さん、ありがとうございました。



下水流地区青少年育成協議会から正門横に設置されている防犯灯の取替をしていただきました。しばらくの間、電灯が点かずに迷惑をおかけしました。今回LED照明に替えました。地域の防犯のために活用していきたいと思っています。



＝ロータリーの秘密＝
これは、ロータリーを上から撮影した写真。なんと、「下小」の文字が見えます。ご存じでしたか？



楽しくお買い物ごっこ ～しもずる保育園との交流～

3月7日に、1年生としもずる保育園児との交流学習を行いました。一緒にやったのは、お買い物ごっこ。お店ごとに花や食べ物などのカードをたくさん準備したり、保育園児と一緒に買い物をしたりしました。「いらっしゃい」と呼び込みをしたり、「何を買う」と尋ねたりしながら楽しい雰囲気の中で交流できました。

保育園児を立派に案内する1年生に大きな成長を感じました。



食を通じた交流活動 ～福島県飯舘村立いたて希望の里学園との交流～

3月1日(水)に、4年生児童が福島県の学校とオンライン交流を行いました。この交流は、東日本大震災後に、出水市で行っていた支援がきっかけで始まりました。

本年度は、4年生が地域の方々と一緒に栽培体験・製糖作業に関わった「黒糖」をいたて希望の里学園に送りました。サトウキビの栽培は、暖かい地方で行われます。福島の小学校の子供たちにとっては、めずらしいものになるのではないかと…というのが、きっかけでした。

いたて希望の里学園でも地域の方に協力をいただいて「ごんぼっぱ」と呼ばれる植物を栽培し、それを使って「凍み餅」を作っています。今回の交流では、それぞれの学校のことや黒糖、凍み餅の学習のことを発表し合いました。報道機関の取材カメラもあって緊張した子も多くいましたが、用意したスライドを上手にを使って発表することができました。

東日本大震災から12年経ちます。改めて飯舘村の方々の様子を通して震災について考えるきっかけとなりました。



オンラインでつないだのは、福島県飯舘村に3年前に開校した義務教育学校「いたて希望の里学園」の3年生と4年生12人です。テーマはお互いの地域と食の紹介で、出水市の小学生たちは自分たちも植え付けや収穫に関わり、去年末に飯舘村に送ったサトウキビと黒糖について話をしました。一方、飯舘村の児童たちは、餅を寒風にさらし凍らせ乾燥させて作る「しみ餅」について発表しました。

参加した児童は、全員が東日本大震災のあとに生まれた子どもたちで、最後に飯舘村の学校の先生が、東日本大震災による原発事故ですべての村民が避難するなど大きな影響があったものの、今は住民の一部も戻り復興に取り組んでいることを説明しました。

参加した女子児童は「大きな地震があったのに今は元気で学校に来てみんなと遊んでいてすごいなと思いました」と話していました。(NHK ONLINE より一部引用)



東日本大震災12年を前に
出水市と福島県飯舘村の児童がオンライン交流会

おめでとう ～すこやか出水っ子表彰～

令和4年度の「すこやか出水っ子」の表彰を行いました。積極的に学校での活動に取り組んできた頑張り表彰するものです。

リーダー賞 柏木一希

健康・体力づくり賞 加藤和心・中島音羽

おめでとうございます。今後の活躍を期待しています。

4月の行事予定です。変更の可能性もございます。後日配布される案内や通信等で詳細をご確認ください。



- 5日(水) 入学式準備 (新6年登校)
- 6日(木) 新任式・始業式・入学式
- 10日～14日【いじめ問題を考える週間】
- 14日(金) 学級PTA・PTA 専門部会
- 17日(月) 1年生給食・清掃開始
- 18日(火) 全国学力学習状況調査
- 20日(木) PTA 専門部会 四役会・理事会
- 27日(木) 1年生を迎える会
- 28日(金) 交通安全教室



(お願い)子供たちの安心・安全を守るため、引き続き保護者、地域の方々のご協力をよろしくお願いいたします。